農知創造研究所活動実績報告書（公表用）

令和２年１月１日～令和２年 12 月 31 日

令和３年２月 26 日
所長　切岩祥和

1．メロンの安定生産に関する研究開始

研究目的及び内容：

温室メロン栽培は熟練の技術を必要とし、その生産物は高級品であり高値で取引されている。

しかし、農業後継者の不足により、高い技術が要求される品目の品質保持は難しく、産地を維持し、活性化するためにも技術の伝承が求められる。

そこで、本共同研究を通じて栽培の省力化、品質の向上を達成するための生産システムの構築を目指す。

2．静岡市とスマート農業の推進に関する情報交換

静岡市の主な品目はミカン、チャ、施設野菜、施設花きで、それぞれが抱える課題は大きく異なっている。

一方、農林水産省による農業振興政策としてスマート農業の推進が進められているが、静岡市の小規模で高齢者中心の産地でも導入可能な技術としては適していない。

そこで、静岡市の農業振興を図るため、本研究所を窓口として情報交換を進め令和３年度に静岡市スマート農業研究会を発足することとなった。